



国際ロータリー第3750地区

韓国・安養大学ローターアクトクラブとの交流について

報告書

2004年7月

国際ロータリー第2500地区

帯広ローターアクトクラブ

<目次>

- 1 日付順による経過推移報告
- 2 日程変更のみの経過推移報告
- 3 全滞在日程
- 4 議事録とその際使用した資料
 1. 帯広ローターアクトクラブ四役理事・会議議事録(7月6日)
 2. 安養大学 RAC・帯広 RAC 会長幹事意見交換会 議事録(7月15日)
 3. 例会報告(記入者:幹事 後藤芳子)
 4. 帯広けいせい苑と帯広 RAC との関係

5 参加者感想

1	打ち合わせを兼ねた歓迎会について	副会長	小野 律子
2	帯広神社訪問の際について	副幹事	荒井 之也
3	FM ウイング出演に際して	副幹事	伊藤 基
4	韓国安養日記	直前会長	森田 博之
5	浴衣を着ていただいた様子について	会員	清水 美文
6	全体を通して	幹事	後藤 芳子
7	安養との交流を通じて	会長	野原 哲

6 滞在を終えるに当たりのインタビュー(幹事 後藤芳子)

7 資料

1. お土産リスト
2. 滞在日程を終了して
(帯広ローターアクトクラブホームページ内掲示板の書き込みより)
3. 7月15日北海道新聞社掲載記事
4. 7月15日十勝毎日新聞社掲載記事
5. 交流写真館 (帯広ホームページにて:8月末より)

<http://www.clione.ne.jp/ri2500orac/>

8 今回の交流に関して

1. 日付順による詳細報告

2004年

5月19日	帯広ローターアクトクラブ(以後帯広 RAC)ホームページ内「公式掲示板」に R13750 安養大学ローターアクトクラブ(以後安養 RAC)の会員様より書き込みがありました。
(内容)	はじめまして、私たちは韓国にある国際ロータークラブ 3750 地区である AnYang 大学のロータークラブの会員でございます。本論から言いますと、2004年7月5日から7月9日まで五人の大学生が日本の会員と国際的交流及び親睦を深めるよう、このように、示板を使わせていただこうとしています。 私達は今年5月に始まったばかりのクラブで初めての国際的交流を進めようとしています。 日本語の上手な学生もいますのでコミュニケーションには全然問題がないと思います。また、日程中すべての必要なものは私たちのクラブから自體的に準備します。心配はなさらないでどうか韓国の大学生と共にさせていただきさるクラブがあるのなら早速ご連絡お願い致します。 心の向かうクラブは下記のメールアドレスの中、どれにでも構いませんので返事をお願い致します。お待ちしております。 どうもありがとうございます。
5月23日	同様の書き込みが行われました。
電話にて	帯広 RAC
	森田会長・野原次年度会長間で協議し、森田会長年度内にて、連絡・対応するという事となりました。
	2003～2004年度会長：森田博之が連絡窓口となり、安養大学 RAC とのれん楽を開始することになりました。
6月4日	帯広 RAC 森田会長よりメール
(内容)	国際ロータークラブ3750地区AnYang大学ローターアクトクラブ様 このたび、我々(帯広RAC)の掲示板に交流

のお誘い案内をいただきまして誠にありがとうございました。そして5月にローターアクトクラブを発足されたことについて誠におめでとうございます。

私達をご存知のことと思いますが国際ロータリー第2500地区の帯広ローターアクトクラブでございまして、今年度で29年目を迎えたクラブです。今年の2月は私達の地区がホストになり日本全国よりアクターが集った「全国研修会」を行った開催地でもあります。会員数は39人と非常に多く活発的な活動と親睦を目的して日々楽しんでおります。

そこで、ご案内いただきましたように7月に国際交流をお考えのことでしたら、是非ご協力も兼ねてお手伝いできればと思っております。お越しの際は会員一同心より楽しませていただきます。実は私達のクラブは昨年の3月に海外研修として韓国に訪問させていただきました。そこで、現地のアクター方と親睦を深める交流会を企画していたのですが、当日近くに相手方様との連絡が取れなくなってしまい交流ができなかった経験がございます。私達は地元にいる海外の方とも年に数回、例会を通して交流させていただいておりますので、この機会にお会いできましたら非常に良い交流にもなることと思います。

是非ご検討いただきまして、お返事いただけましたら幸いです。

大変、お返事が遅くなってしまいましたことにお詫び申し上げ、簡単な挨拶ではございますが結びとさせていただきます。

2003～2004年度
帯広ローターアクトクラブ会長
森田博之(もりた ひろゆき)

2004～2005年度
帯広ローターアクトクラブ会長
野原 哲(のはら さとる)

6月5日	安養大学 RAC よりメール
(内容)	<p>My name is Ja-Hong Ku .</p> <p>I'm president in anyang university rotaract club.</p> <p>I was take your mail. But i didn't read it.</p> <p>Our club will be want to meet your club.</p> <p>We are going to go to your club in japan. But we doesn't know your club location. Would you mind write me how to go your club. We are going to visit from 7.5 to 7.9 .</p> <p>If you don't mind We want to visit your club in this time.</p> <p>Expecting a response to this letter.</p>
(訳)	<p>私は Ja-Hong Ku です</p> <p>私は安養大学 RAC の会長を務めております。あなたのメールを受け取りましたが、読めませんでした。私たちのクラブは日本を訪問し、貴クラブ訪問したいと思います。しかし私たちは貴クラブがどこにあるのかわかりません。</p> <p>出来れば私たちに、どうやって貴クラブへ行ったら良いのか教えてください。</p> <p>私たちは7月5日から9日の日程で日本に行く予定です。もし、貴クラブを訪問時間があればと思っております。</p>
6月6日	安養大学 RAC より返信メール
(内容)	<p>嬉しいです。私どもは 2004年 5月 15日に創立した大韓民国国際ロータリー 3750地球安養大学ロタレットクラブ会員です。</p> <p>ほかではなく今度当クラブが創立をしたし、学校で海外探訪という主題で日本に行くようになりました。それで私どもは 7月に 5人の大学生たちが日本のロタレットクラブ会員たちと国際的交流及び親しみを積もうとこんなにメッセージを見えます。</p> <p>皆さんのホームページ (http://www.clione.ne.jp/ri2500orac)を見て非常にスポーティーなクラブのようでとても訪問をしたいです。</p> <p>7月に始める帯広ロタレットクラブの全般的</p>

	<p>な活動内容確認、姉妹提携、国家間親睦企画などを持つとします。日本語を非常に上手にすることができる学生がうちの方にあるので言語によるコミュニケーション問題は全然ないです。</p> <p>なにと、当クラブと朋にできるように多くの助けをお願い致します。遠慮なくて下の電子メールで連絡をお願いします。</p>
7月1日	新年度開始
7月2日	安養大学RACよりメール
(内容)	<p>文字化けのため、内容を確認できませんでした。</p>
7月3日	<p>帯広RACより、文字化けの件でもう一度送っていただけるようにメールいたしました。</p>
7月6日	安養大学RACよりメール。
(内容)	<p>先日送っていただいたメールに対してとても感謝しております。そして帯広RACで私どもを積極的に歓迎していただけることに対してとても感謝いたします。当所、7月5日から4泊5日間、帯広RACを訪問しようと思いましたが、飛行機のチケットが取れなかった関係で7月12日(月)から19日(月)までの1週間、日本で滞在する予定です。</p> <p>12日から15日までは帯広で5名の会員が泊まって、そして5人中4人の会員が16日から19日までは東京で泊まる予定です。(他の1人は先に韓国に帰る)</p> <p>私どもは皆さんと姉妹提携を推進して、国際的な問題に対して一緒に共有し、各分科にすべきことに対して学んで、そして国際的なRACの交流関係を結ぼうと目的を持っています。</p> <p>私どもが日本で滞在する間、帯広近くのホテルで宿泊する予定ですが、もしできれば皆さんとホームステイをしたいです。</p> <p>大学生達だから経済的問題もあって、皆さんとより一層親しくなるきっかけになると思うからです。</p> <p>また、お願いしたいことがあります。</p> <p>7月12日午後5時35分、札幌空港に到着する予定です。帯広駅まで行くのに時間はどの</p>

	<p>位かかるか、帯広RACに行くのにどうしたら良いのか詳しくわかりません。</p> <p>それで空港で私どもが降りたら札幌空港から帯広までどのように行けばいいのか教えて欲しいです。</p>
7月6日	四役理事会議(議事録は目次4-2)
出席者	<p>会長(野原哲)</p> <p>副会長(小野律子)</p> <p>幹事(後藤芳子)</p> <p>副幹事(伊藤基・荒井之也)</p> <p>理事(森田博之)</p>
議題	安養大学 RAC 来帯についての緊急対応会議
(資料)	<p>国際ロータリー発行「ローターアクト必携」・国際ロータリー「ロータリー友情交換の手引き」(実際はロータリークラブの友情交流について、述べられているものですが、参考資料として活用させていただきました。)並びに、第2500地区ローターアクト規約・帯広ローターアクト規約を検討の上、下記の点について決定する。</p> <p>詳細は(目次4-1参照)</p>
(内容)	<p>国際間提携について</p> <p>宿泊先</p> <p>提唱ロータリークラブへの対応</p> <p>帯広までの道のりについて</p> <p>日程調整について</p> <p>連絡役について</p>
7月7日	<p>前日の会議を受けて、帯広 RAC 直前会長兼理事:森田博之から安養大学 RAC へ下記のようなメールを送付いたしました。</p>
	<p>安養大学RACの皆様、こんにちは。</p> <p>7月12日(月)から15日(木)までの期間で帯広に来ていただけて心から歓迎させていただきます。ただ、色々と問題点もありまして確認させていただきたいのですが</p> <p>姉妹提携の推進に関して</p> <p>安養大学RACと帯広RACの正式な姉妹提携を調印することになると手続きにも大変時間がかかります。提唱ロータリーの許可から</p>

--	--

	<p>か？</p> <p>帯広空港から東京入りですか？千歳空港から東京入りですか？</p> <p>7月12日(月)もしかしたら私が仕事の休みが取れるかもしれないので、千歳空港までお迎えに行けるかもしれません。7人乗りの車なので問題ないです。</p> <p>歓迎交流会について</p> <p>我々のクラブでは皆様12日に帯広へ到着されたらお迎えし、ホテルのチェックインの手続きができれば、少し一緒にお食事の時間を取らせていただきたく考えております。</p> <p>翌日の13日に皆様の歓迎交流会を行いたく考えております。</p> <p>残念なことに14日と15日はお相手することが難しいです。観光などご紹介させていただいても構いませんし、隣町のRACを紹介させていただいても構いません。隣町といっても非常に遠い(120キロメートル)です。</p> <p>大変お手数かけますが、まずは我々のご質問にお答えいただけますと幸いです。</p> <p>返信先</p> <p>帯広RAC前年度会長 森田博之(もりた ひろゆき)</p> <p>E-mailアドレス記載。</p> <p>皆様がお出発前に私の携帯電話番号をお伝えいたします。</p>
7月9日	<p>帯広ローターアクトクラブ・森田博之直前会長兼理事</p> <p>安養大学ローターアクトクラブ付通訳: ユン様</p>
電話にて	<p>5名のうち4名が安養ローターアクトクラブの会員。1名が小樽商科大学に韓国より留学中のユンさんという事が判明し、今後の連絡を、すべてユンさんを通じて行う事で協議する。</p> <p>ユンさんが千歳空港からレンタカーで4人を連れて帯広に入る事が判明し、こちらで用意させていただいた、ホテルの件・日程の件・提携に関してこちらで協議した内容を、韓国・安</p>

7月11日	<p>帯広 RAC・直前会長兼理事: 森田博之</p> <p>安養大学 RAC 付通訳: ユン様</p>	
電話にて	<p>安養大学 RAC より、7月9日の電話により、お伺いに了承していただく。(森田)</p>	
7月12日	<p>安養ローターアクトクラブ来帯</p> <p>午後9時30分より</p> <p>打ち合わせを兼ねた歓迎会</p> <p>場所: じんや(帯広RAC・OBのお店・ガーデンズホテル裏)</p> <p>(感想: 目次5 - 1)</p>	
出席者	<p>帯広 RAC</p> <p>会長: 野原哲</p> <p>副会長: 小野律子</p> <p>幹事: 後藤芳子</p> <p>副幹事: 荒井之也</p> <p>直前会長兼理事: 森田博之</p> <p>OG: 切越愛美</p>	<p>安養大学 RAC</p> <p>会長: クーさん</p> <p>副会長: チェさん</p> <p>書記: チャオンさん</p> <p>財務: チャンさん</p> <p>通訳: ユンさん</p>
(内容)	<p>自己紹介に続いて、日程・主旨・目的の確認と打ち合わせ。</p> <p>ここで、安養大学ローターアクトクラブより2つの申し出がありました。</p> <p>1 > 日本的な場所を見たい。</p> <p>2 > 帯広ローターアクトクラブと一緒にボランティア活動をしたい。</p> <p>3 > 組織として誕生したばかりなので参考にしたいので、色々教えて欲しい。</p> <p>この上記3点について早急に対応すべく、1点目の「日本的な場所を見たい」という要望に関しまして、出席しておりました副幹事: 荒井之也の職場である帯広神社を翌日午前中に、荒井が説明して見学することとなりました。</p> <p>2点目「一緒にボランティア活動をしたい」帯広の会員は職業を持っていることから、平日昼間に活動をする事はできない事を伝えた旨、翌日まで返答を見送りました。</p> <p>3点目「組織的なお話」</p> <p>その場で、簡単なお話をさせていただき、質</p>	

	<p>問に答えましたが、充分ではないと判断し翌日以降で再度時間をとってお話しようという事となりました。</p> <p>帯広ローターアクトクラブ翌日以降の予定についてお話をいたしました。</p> <p>その際、当初より7月13日に、十勝毎日新聞社様に年度始めのご挨拶に伺う事を予定しておりました件をお話していたところ、興味を持たれた様子でしたので、一緒に新聞社に見学にいかがですか？と打診したところ快く承諾いただきました。</p> <p>ここで、当初の日程に追加項目となりました。</p>
	<p>帯広ローターアクトクラブとしてボランティア活動を行っている、特別養護・介護老人施設「けいせい苑」様に翌日アポイントメントを取り、なんだかの活動が出来るかをお伺いした上で、対応したいという判断となり、帯広 RAC 幹事・後藤が連絡を取り協力要請をする事となりました。</p>
7月13日	安養大学 RAC
午前10時より	<p>1時間半</p> <p>当クラブ会員：荒井之也(副幹事)が勤め先である、帯広神社を案内しました。その時の様子を荒井副幹事より報告受けております。</p> <p>(感想は目次5 - 2)</p>
午前中	<p>けいせい苑にアポイントをとり、午後2時半より30分間、けいせい苑を見学する手配を行いました(幹事)</p> <p>けいせい苑と帯広 RAC との関係(目次4 - 4)</p>
	<p>安養 RAC の皆様単独で、帯広畜産大学を視察にいかれしました。(事後報告を受けました)</p> <p>> その際の事をお聞きしました <</p> <p>会長クーさん「とても大学だとは思えないくらい敷地が広くて、どこからどこまでが学校なのかわからなかった。農業が盛んなところだ」という認識が強まり、近郊の風景にも納得がいった。学食に行って昼食をとった。ラーメンが、韓国にある日本のラーメン店よりも脂っ</p>

午後3時より	<p>十勝毎日新聞社にて、帯広 RAC 四役の年度始め挨拶。</p> <p>この挨拶により、今年度の活動に際して取材要請をさせていただく件に関してお話ししておりました。</p> <p>安養大学 RAC の皆様が見学しまして事情をお話しましたところ、急遽・新聞社より当日夜の交流会に取材に伺いたいと申し出があり、その場で帯広 RAC と安養大学 RAC との合同取材となりました。こちらとしてもこの要請にありがたくお引き受けし、今年度一年間の活動に際しての取材要請・新聞掲載にあたっての第1歩となりました。</p>
	<p>上記の件を受けまして、帯広 RAC 会員：伊藤基(副幹事)より、帯広市民ラジオ FMWing への出演が可能であるとの打診を受け、翌日の日程として組み込む。午後1時より約1時間、安養 RAC の皆様の出演がきまりました。また、当初来週以降にご挨拶に伺う予定でした、北海道新聞社へも今件をお話して取材していただくよう、副幹事・伊藤基にから取材要請いたしました。</p>
午後7時より	<p>「かに大将」にて、帯広 RAC メンバー16人参加による交流会を催しました。この席に、十勝毎日新聞社・北海道新聞社の記者の方が取材に来られました。</p> <p>帯広 RAC へさまざまなお土産をいただきました。(目次7 - 1)</p>
夜中	<p>この日の夜中、安養大学 RAC より滞在延長の申し出がありました。</p> <p>16日に例会を行うことから、例会を見学したいという申し出があり、直前会長兼理事の森田が対応にあたり、ガーデンズホテルの2泊延泊の手続きに入りました。</p>
	<p>報告書にて、「会員単位での交流」とお知らせしようとしていた今件ですが、「クラブ単位での交流」となることから、新聞報道並びに例会出席を控えた事により、今件につきましての事情報告書を作成しました。</p>

7月14日	
午前中	提唱ロータリークラブ・ローターアクト担当委員長様宛に、「韓国安養(あにやん)大学ローターアクトとの交流について」という事情報告文書を送付いたしました。
午前中より	帯広 RAC 直前会長兼理事の森田が、勤務が休みのため、帯広市郊外を案内して回る。牧場や十勝ビールで昼食をとったとの報告です。 ガーデンズホテルへの2泊延長が可能となったために、例会参加のメーキャップを行うべく、登録として扱う事となりました。
午後1時	帯広市民ラジオ FM ウイングに安養大学 RAC の4名 + 通訳のユンさんが出演。ローターアクトクラブのお話、なぜ帯広に来帯なさったかという経緯について、お話。また近日の日本における韓国ブームについてもお話が弾む。 45分間の出演となる。 (目次5 - 3 > 感想) (目次7 - 6 > 放送内容)
午後2時半より	帯広特別介護老人施設: けいせい苑を訪問。 30分間の短い時間ではありますが、内部を見学することができました。 (けいせい苑について目次4 - 4))
	けいせい苑見学後 森田直前会長が、ナイタイ高原にご案内したという報告を受けております。 この時の様子につきましては、森田直前会長の今件に関します感想をご参照ください (目次5 - 4)
7月15日	安養大学 RAC 日程はフリーとして時間を設定いたしました。 何かの緊急連絡先に、四役数名の携帯番号をお渡しして置きました。
朝	北海道新聞・朝刊に記事が掲載されました。 (目次7 - 4)
午後	事情報告をさせていただいた提唱ロータリークラブのうち、帯広東ロータリークラブより、ロータリー事務局に連絡が入ったそうです。詳

	細については把握しておりません。
夕方	十勝毎日新聞に記事が掲載されました。 (目次7 - 5)
午後7時より	約2時間・ガーデンズホテルにて意見交換会 安養大学 RAC と帯広 RAC 四役にて、相互のクラブ運営や方法の情報交換、またなぜ帯広にいらっしゃったのかという事を「会議」という場を持ってお話しする機会を設定しました。 安養大学 RAC の宿泊先である、ガーデンズホテルにて行いました。 (議事録・目次4 - 2)
	けいせい苑: 十勝毎日新聞社・北海道新聞社・FM ウイング様に、お礼状をお出ししました。
午後9時より	一緒にお食事をという事で、「北の屋台」へご案内しました。 この時の様子につきましては、 (目次6)
7月16日	
日中	帯広ロータリークラブ・田中弘様より野原会長に電話が入り、今回の対応に対してお褒めの言葉を頂きました。
午後6時	ガーデンズホテル・集合(会長・副幹事(伊藤)) この際に、ガーデンズホテル社長・帯広ロータリークラブ後藤様に、今件に関して色々手配していただいた事に関して謝辞を申しあげました。 集合後、グランドホテルまで一緒に移動。移動後すぐに、帯広 RAC 清水美文会員の協力で、安養大学 RAC の女性会員2名に浴衣を着ていただき参加。 (目次5 - 6)
午後7時	帯広グランドホテル 例会「夏祭り」(クラブ奉仕委員会担当プログラム)への参加。 <バナー交換> バナー交換・お土産として頂いたものについての報告を帯広会員へ また、帯広 RAC よりおみやげ・資料をお渡しいたしました。

	(例会報告・目次4 - 3) (おみやげ品に関するリスト・目次7 - 1)
午後9時	帯広ホテル・パコ 13階カラオケルーム 2次会にご参加いただきました。 安養の方が、日本で活躍している韓国人歌手の歌を日本語で歌ってくださり、大変盛り上がりました。
	3次会にて、更にお話をして、今回の滞在についてのインタビューを行いました。(目次6)
7月17日	
午前10時	ガーデンズホテル・チェックアウト 1時半ぐらいに帯広を出発したいという事から、会長野原・幹事後藤にて対応しました。
午前11時	道立とかちエコロジーパーク・見学 初めてのフワフワドーム体験に一同大変喜んでおりました。 安養は工業地帯で光化学スモッグが発生している都市ということで、大きな公園はあっても自然溢れる公園は余りないそうで、皆さん童心に戻ってはしゃいでおりました。
午後 12時30分	緑が丘公園(昼食・ぶた井) いつも、行列が出来ていたの・・・と言っていた、ぶた井を食べてみたいという要望で、グリーンパークにて昼食をとりました。
午後 1時30分	離帯・お見送り(会長・幹事・藤田会員)

離帯後のスケジュール

札幌にて2泊なさった後、千歳空港～関西国際空港経由で、韓国へ。月曜日に戻られるという報告を受けております。

2 .

日程変更のみの
経過推移報告

2004年7月

(5月15日時点)当初予定されていた日程	
7月5日～9日	日本への訪問(訪問地未定)
(7月6日時点)第1変更日程	
7月12日～19日	日本への訪問
7月12日～15日	帯広訪問
(7月6日時点)帯広 RAC 作成日程	
7月12日夜	お出迎えと打ち合わせを兼ねた夕食
7月13日夜	会員との交流会
7月14日	森田直前会長が観光案内
7月15日	離帯・お見送り
(7月12日時点) 打ち合わせを兼ねた夕食の席での日程変更 > 7月13日分のみ変更	
7月13日	帯広神社・ご案内(副幹事・荒井之也勤務先)
	十勝毎日新聞社・取材(四役年度始め報告を含む)
	安養大学 RAC と帯広 RAC の交流会
7月14日	森田直前会長が観光案内
7月15日	離帯・お見送り
(7月13日時点)翌日以降随時変更点あり> 滞在延長を含む	
7月14日	森田直前会長が観光案内
	FM ウイングへの出演(副幹事・伊藤基勤務先)
	特別介護老人施設:けいせい苑・視察
7月15日	安養大学 RAC・帯広 RAC 意見交換会
7月16日	帯広 RAC 第713回例会「夏祭り」出席2次会も参加
7月17日	離帯・お見送り

3 .

安養大学 RAC 滞在

全日程

2004年7月

日付	時間	内容	帯広 RAC 参加会員
12日 (月)	17:35	関西空港経由～千歳着	
	21:30	レンタカーにて帯広到着(運転・通訳ヨンさん)	
	21:30	夕食兼打ち合わせを兼ねた歓迎会(じんや)	四役・直前会長
13日 (火)	10:00	帯広神社・見学	副幹事(荒井)
	12:00	帯広畜産大学・見学	
	15:00	十勝毎日新聞社・取材	四役
	19:00	歓迎交流会(かに大将)	会員16名
14日 (水)		観光 むーみん牧場 ・ナイタイ高原・他	直前会長 (終日)
	13:00 ～ 13:45	FMウイング出演	直前会長・会長 幹事・副幹事(伊藤)
	14:30 ～ 15:30	けいせい苑・見学	直前会長 会長・幹事
15日 (木)	日中	フリー 池田のワイン城・他、 観光・ショッピング	
	19:00 ～ 21:00	安養大学ローターアクトクラブ・帯広ローターアクトクラブ会長 幹事・意見交換会	会長・幹事 ・副幹事(伊藤)
	21:00	夕食(屋台村)	

16日 (金)	18:00	ガーデンズホテル フロント集合	会長・副幹事(伊藤)
	19:00	第713回例会「夏祭り」参加(グランドホテル) ・ バナー交換 ・ おみやげ交換	会員・26名 ロータリアン6名 OB/OG5名
	21:30	2次会・ホテルパコ帯広(13階タイムゾーン)	会員・13名 OG・1名
17日 (土)	10:00	チェックアウト	会長・幹事
	10:30	道立エコロジーパーク	
	12:00	緑が丘公園にて昼食	会長・幹事・藤田 会員
	13:30	離帯・お見送り	
	離帯後		
札幌・宿泊			
18日 (日)	札幌・宿泊		
19日 (月)	千歳空港～関西空港経由で 韓国へ		

4 - 1 .

帯広ローターアクトクラブ

四役理事・会議議事録

2004年7月6日

出席者	会長(野原哲) 副会長(小野律子) 幹事(後藤芳子) 副幹事(伊藤基・荒井之也) 理事(森田博之)
議題	安養大学 RAC 来帯についての緊急対応会議
(資料)	国際ロータリー発行「ローターアクト必携」・国際ロータリー「ロータリー友情交換の手引き」(実際はロータリークラブの友情交流について、述べられているものですが、参考資料として活用させていただきました。)並びに、第2500地区ローターアクト規約・帯広ローターアクト規約を検討の上、下記の点について決定する。詳細は(資料2参照)
(内容)	国際間提携について 宿泊先 提唱ロータリークラブへの対応 帯広までの道のりについて 日程調整について 連絡役について
内容の詳細	
国際間提携について	先方が望んでいた「姉妹提携, 国家間親睦企図」については、ロータリー友情交換の手引き」2ページより、「国際協議会でロータリー友情交換に関する情報を要請してもらうようお願いしてください。」という文面、ならびに3ページの「クラブ訪問」より、地区友情交換委員長または交換学友は、自分の区域にあるクラブを訪れ、交換プログラムを紹介することが出来ます。クラブ例会で、現行やこれから行う交換プログラムをお知らせする事は、すばらしい例会プログラムとなります。」と推奨されている事がわかりました。 この友情交換プログラムに際して、実際は相手

との連絡を密に取り、その上で日程計画をたて、内容を詰め、資金を確認し、地区ローターアクトクラブならびに提唱ロータリークラブ等の相互間で協議し、様々な承認事項を経て開催される事が望ましいのですが、準備期間1週間ということで、これらに関して様々な検討を行いました。

・姉妹提携を正式な形で行う場合の手続きとして
帯広ローターアクトクラブ側より

1 > 帯広ローターアクトクラブ理事会での承認後
2 > 帯広ローターアクトクラブ 提唱ロータリークラブ 第2500地区ローターアクトクラブ両方の承認
3 > 第2500地区ロータリー・ローターアクト委員会 承認
4 > 第2500地区ロータリー事務局・及びガバナー・ガバナーエレクトの承認
5 > ゾーン会議への打診をしていただく件での依頼を帯広ローターアクトクラブより行う。

1・2・3・4同じ手続きを、韓国・安養ローターアクトクラブにもとって頂く。

5 > 国際ロータリーアジア第1ゾーン理事会での承認
・調印式並びに、ご案内について
(同じ事を韓国安養大学ローターアクトとしても連絡)
> 第2500地区ロータリークラブ・ガバナー及びガバナーエレクト
> 第2500地区ロータリー新世代奉仕委員会アクト委員会
> 提唱ロータリー5クラブ会長・幹事・ローターアクト担当委員会
> 第2500地区ローターアクトクラブ 地区代表他地区役員
> 帯広ローターアクトクラブ・全会員
その上で日程・場所・時間をお知らせする。

これらの点に関して、準備が整わず満足のいく内容が詰める事が出来ないことが想定・判断されたことから、非公式での懇親会・親睦会を深

	<p>めるという事を重要視して、これを機会に姉妹提携や国際的な協力・連帯関係を持つ準備をするべく、対応する事で全会一致となりました。</p> <p>(資料別紙・1)</p> <p>これにより、対応として他クラブ交流と同等に「会員単位での交流」という形での交流会として考え対応していく事となりました。</p> <p>これに伴い、関係しております提唱ロータリークラブ・ならびに第2500地区には報告書をもって、事後報告という形を取る事と致しました。</p>
宿泊先	<p>ホームステイの斡旋に関して、帯広RAC会員はすべて職業をもった会員で構成されているため、平日に3日間受け入れる事は不可能と判断。直前会長および理事の森田博之が北海道ホテルに勤めているため、ホテル関係者に連絡・連携をとるということで、森田に一任。すぐに帯広駅前のガーデンズホテルにローターアクトクラブの会員がいる事から、手配させていただきました。</p>
提唱ロータリークラブへの対応	<p>報告書にてお知らせする。</p> <p>理由：非公式設定によりあくまで、会員単位での交流と考える。</p>
帯広までの道のりについて	<p>札幌空港17時35分という情報から、千歳空港のフライトインフォメーションをHPで検索。関西空港発>千歳空港着のANAと判断。</p> <p>千歳から帯広までの過程を説明。窓口となって連絡を取っている森田直前会長に一任。</p>
日程調整について	<p>7月12日～15日の日程で、帯広ローターアクトクラブの例会が行われない事から、会員の親睦という形で会員間の交流の懇親会を行う事と決定し、帯広ローターアクト会員に親睦会の日程を連絡。</p> <p><日程></p> <p>7月12日(月曜日)到着予想時刻午後10時</p> <p>> 四役・理事にてガーデンズホテルにお迎えし、その後遅めの夕食を一緒に取りながら、相手の目的やこちらの対応について協議する事。</p> <p>7月13日(火曜日)午後7時より</p> <p>帯広ローターアクトの会員での交流会を行う。</p>

連絡役について	引き続き、森田直前会長が行う事で一致。

4-2.

安養大学 RAC 帯広 RAC

会長幹事意見交換会・議事録

2004年7月15日

午後7時よりガーデンズホテルにて

参加者：計8名	
安養大学ローターアクトクラブ 会長・クー 副会長・チェ 書記・チャオン 財務・チェン	帯広ローターアクトクラブ 会長・野原 哲 幹事・後藤 芳子 副幹事・伊藤基

通訳：ユンさん

資料(帯広ローターアクトクラブ(以後帯広RAC)準備)
<ul style="list-style-type: none"> ・ 国際ローターアクト必携(韓国版・日本語版) ・ 国際ロータリー友情交換の手引き(韓国版・日本語版) ・ 帯広 RAC 組織図 ・ 帯広 RAC 活動報告書(過去2年分) ・ 帯広 RAC 式次第

帯広RAC会長より、Q&A方式が良いか、それとも説明しながらまず帯広のお話をさせていただいたほうが良いかという提案があ

り、帯広 RAC が説明しながら、わからなかったり聞きたい事がある時は質問を受け付けて欲しいということではじまりました。

1 > 組織図の説明

帯広 RAC の活動における組織図の説明を行い、それぞれの役割について説明。

四役 会長・副会長(会員担当)・幹事(渉外担当)・副幹事(サポート)

理事(相談役)・監事と会計(財務担当)・地区役員・広報と HP 担当・各委員会・特別委員会の役割について説明。

安養大学 RAC の組織図を説明していただく。監査・会計を司る財務が委員会として存在しており、国際 RAC を参考にしていることが伺える。

Q > 人選はどうやって決めるんですか？(安養より質問)

A > (帯広) 会長が人事を決めます。まず四役が決まりサポート体制が決定後、役員をきめ、そして委員長を決めていきます。

今年度に関しては、会員に関して、新しい活動に入るという意味で、委員会の構成を委員長未経験者に委員長を指名させていただくことで、新しい感覚を注ぎ込んでいただき、更に委員長経験者・四役経験者を委員会に配置して色んな事を相談したり勉強したりできるように、人事配置いたしました。

これまで、毎年必ず担当委員会にて、行っていた例会というのが数多くありました。それは四役並びに理事会の意向により、「恒例」となっていた行事でした。

しかし、あえて今年度は当初の段階より委員会に求めず、「自分達の本当にやりたい例会のプログラムを、アクトに居るからこそ出来る例会プログラムを考えてください」という形で白紙のものをお渡ししました。これにより、委員長を中心として、様々に活発な討議が行われてプログラム構成されたという報告を受けております。このことが、委員会内での新しい交流・仲間の始まりとなり、より良い雰囲気になるきっかけになって行くと、これからの1年を見て思いたいです。

私たちのクラブの会員は社会人です。仕事上でのミスは、許されません。しかし、アクトの場では自分を

思う存分に発揮しながら、失敗してもそれは糧となると考え、思い切って活動で自分を試していただける場として、会員には有効に活用して欲しいと考えております。

2 > 例会についての説明

帯広 RAC の式次第を元に、例会の方法や順序といった話をする。

安養大学 RAC は発足が5月という事もあって、整備された状態ではないにせよ、ロータリーの例会を参考に例会行っているとのこと。7月16日(翌日)の例会に参加される事から、翌日の例会式次第を説明しながら、帯広 RAC の例会の運営方法についてお話をします。

Q > (安養) 帯広では誰が例会を行うのですか？

A > (帯広)

例会を管轄するのは、四役の役割で、例会内で行われるプログラムについては各委員会・理事会が行います。先ほどご説明した、委員会が中心となって行う特色のある例会がほとんどです。

また翌日の打ち合わせも行う。

この中で、小さめの韓国国旗をもって来ていらっしゃる事がわかり、例会時に反映させようというお話有。式次第の順序を追ってお話している中で、ローターアクトソングが違うという事がわかりました。

今回は帯広の例会にメーキャップされるという形を取る事となりました。設立されたばかりなので、メーキャップということ事態が始めての経験となるため、メーキャップその物についてに関わる事についてお話させていただきます。

3 > 地区の事について(帯広より質問)

第3760地区(韓国)の様子を聞く。同じ地区内に19のクラブがあるという事から、地区内クラブでも学べる事が多いのでは？というこちらの疑問に対して、活動が活発な他国のクラブ状況を学ぶ事で、同じ地区内から学べない事も吸収して、活動していきたいためという説明が行われる。

4 > なぜ帯広を選んだのかについて(帯広より質問)

まず、1番近い国である事。

韓国の歴史や文化の背景から、日本は「近くて遠い国」という認識があるため、本当の日本人はどののだろうか?という素朴な疑問もあったため、自分達で確かめたいという思いがあった事で、日本を選んだということ。

設立したばかりなので、様々なクラブがどのような活動を行っているかを調べた際に、韓国語と日本語の翻訳ソフトをパソコンに組み込み、日本にあるローターアクトクラブ約200以上のホームページを検索し、その中で活動が盛んに行われていると判断した帯広RACのホームページを見て、活動内容や実際にその活動に当たっている会員に会って話を聞きたいと思ったということ。

実際に、帯広に来る事を決めるまでは、どこにあるのかどんな場所なのかも知らなかったという事。ただ、帯広RACのホームページとメール交換を頼りにするほかに方法は無く、メールも日本語と韓国語では対応ソフトが違うために、文字化けなどのネットのバグも良く生じる事から、とても不安だった事をお話していました。しかし、帯広のメールや掲示板での対応が迅速だった事で、その不安も徐々に解消され、活動が活発なクラブだという認識が強まった。

ホームページ上だけではわからない事を実際に見たいという事から、帯広RACを訪問したいと考えた。というお話でした。

5 > どういった形で、海外研修に至ったのか(帯広より質問)

海外研修をしたいということと大学の方針が一致した事から、期をおなじくして、安養大学で行われていた海外研修の公募に応募したとのが、発端となる。

学校の中で国際的な人材を育てるという目的があることから、4名一組での海外研修旅行の公募が行われた際、設立したばかりのローターアクトクラブとして海外研修をして、活動を実際に見てみたい、また活動に当たっている会員との交流を図りたいというプレゼンテーションが行われ、64の公募の中から14のチームが選ばれ、それぞれ学校からの補助を受けて海外研修を行い、報告書を提出するという選考で選ばれたと

いうこと。

この14チームのうちヨーロッパに研修にいったチーム等もあるが、大半が日本への海外研修のチームで、そのほとんどが大都市圏(東京・大阪など)に集中している事。またそのほとんどが大学生交流で、短期留学やホームステイ体験といった事がほとんどであるということ。

しかしながら、安養RACのメンバーはローターアクトクラブの活動について勉強したかったため、学校での学生としての文化や交流ではなく、あえて職業を持っている帯広RACを選び様々な分野についてのお話を聞いたり触れたりする事で、勉強したかったためという説明がありました。

・これから、どういった活動をしていきたいか? > 帯広より質問

回答)安養大学

まず、韓国に帰ったら簡単ですが、日本語版のHPを作りたいとの意向があります。日本語を勉強するという意味と、韓国から帯広ローターアクトクラブへの感謝の意をこめた報告書や写真を掲載したもので、簡単なものになると思うが、作りたいと考えている。帯広側でも、こちらでも自動翻訳ソフトをパソコンに投入することで対応できると考えてられますというお話をしましたが、留学生コンさんのお話によると、まだ誤変換が多いということで、要検討事項となります。

また、学生である自分達のクラブにどうやって反映させていく事が出来るのかという点で、これから色々考えていきたい。

・これから、どういった交流をしていきたいか? > 安養より質問

回答)帯広RAC

あくまでも、これは会長の考えであり、クラブ全体の考えとしては理事会やロータリーの承認を得られないと進まない問題ではありますが、今年度中に海外研修を元々考えているという件(国際奉仕委員会)。それに伴い、現在場所は検討中ですが、安養を訪れる方向で考えていきたい。

私たちは、これまでも様々なクラブとの連携を図っていることから、たとえば国際奉仕委員会例会すべてを、韓国と韓国語を学ぶ事に使う事は、年度始めと

はいえ活動計画書が出ている段階では難しいが、その中でできる事の1つとして、内容として盛り込むという事は可能である。

韓国語のホームページの作成は、現状では無理だと思います。もし多言語で作るということになると、英語を先に作る事となると思います。これはローターリーが元来アメリカ発祥であるということや、英語にする事で見られる人数が格段に増えるという点にあり、もしも実現した際には韓国の皆様にもより読みやすくなりやすいサイトの運営が可能と思われます。

・提唱ローターリークラブとの関係について？> 帯広より質問

> 担当の学校の先生が RC の会員で、先生の薦めにより作るために、会員を募集して、作るようになった。支援を受けている。

提唱ローターリークラブは「東安養ローターリークラブ」で創立25年ぐらいいだと思われる、45名ぐらいの会員がいるローターリークラブで、社長・先生などの仕事をもたれている会員で構成されている。

例会自体にロータリアンが来る事はほとんどありませんが、先生が部活の顧問的な立場で、関わっていらっしゃいます。

・提唱ローターリークラブとの関係について> 安養より質問

帯広 RAC の提唱の話。

5つの提唱ローターリークラブがあるという事。例会には毎回、提唱ローターリークラブのアクティブ担当委員会のうちの何名かが出席なさっているという事、財政面での援助や、社会的な活動に際してのご理解・ご協力を頂いているということ、また会員増強などにも協力して頂いている事をお話いたしました。

また、今年度に関しては、提唱ローターリークラブに活動を認識してもらい、私たちが資金的にも活動に際する様々な協力をして頂いていることで、様々な素晴らしい体験をさせていただいているという事をお知らせして行く事の重要性を理解し、それに対してどのような行動をとっていくべきかも、考え直す必要性に迫られております。

今年度は、5つある提唱ローターリー5クラブのうちの2つと合同例会をすることで、まずお話するという事。

そして、新聞に掲載していただくように要請する事で、ローターリーの皆様の実際に目に触れる形でのアピールを考えております。

・やめていく会員の理由(退会理由)について> 安養より質問

帯広の会員でやめていく理由は、様々です。表面向きには、仕事との両立が出来なくなったから。「仕事を持っている会員」とあるため、無職となったから。それに伴い、寿退会という言い方をしておりますが、ご結婚・出産による退会もあるということ。

しかし、他にも理由はあるようですが、正式に報告は受けておりません。

・どうしたら、魅力あるクラブとなれるか？> 安養より質問

帯広が、魅力的かどうかは自分達ではわかりません。ただ、今年度に入って30周年を控えた私たちは、過去を見つめなおす事の重要さとこれからの新しい活動に入るという境界線の中で、様々な問題に向き合っております。

クラブ結成から30年経って、私たちは今年度新たな活動に入ろうとしています。再生とも言うかもしれませんが、新しい事をするにはパワーが必要です。今までの活動をバネにもっとよりよくなる為の方法を模索しながら活動して行こうとしている段階です。新しい事には、反発や問題も出てきていますが、日々それを乗り越えて行こうとしています。

その為に、何をしなければいけないのか…

まず、リーダーである私たちがしっかりしなくてはならないこと、そして会員から見て「あの人たちと一緒に活動したら、楽しい！」とと思っていただけるような、仲間内での雰囲気を作り出していくこと、それがみんなに波及していく事ができれば、より高いレベルに引き上げて行く事ができるのだと信じて、「このクラブに入ってくれた。」とか「このクラブに居たからこそ、こんな活動ができたんだ」と会員がいつか思ってくれる日が来ると考えております。

私たちのクラブは、創立されて30年と長きにわたる活動で、数多くのOB・OGがおります。私たちのこの新しい試みに、自分達が培って来た事が壊されるのでは？という不満・不安もあると聞いております。し

かし、まだ始まったばかりです。不安は私たちにもあります。さらに良くなるように、良くなったときに、初めて私たちの活動が理解された時となるかもしれません。

ホームページ上私たちのクラブが皆様にとって魅力的にうつっていたという事が私たちの励みです。

・最後に、帯広よりお願い

翌日の例会の中で、帯広の会員に安養の地図的な位置を教えていただきたいと、模造紙数枚と、マジックをお渡しして明日の例会会場に持ってきて頂くことをお願いしました。

< 総評 >

2時間という時間の中で、とても有意義で活発な討論が行われました。安養大学RACの真剣さに、帯広参加メンバーも触発されながら、さらにこれからの活動に対する姿勢を正す意味で、良い時間が過ぎた事がなによりだったと思う。明日の例会が、安養とのこの交流の機会となる帯広の会員に、良い影響となることを期待しながら、もう一度自分達の足元を見つめなおし、自分達の今までの活動を見つめ直す機会となったと思う。

4 - 3 .

例会報告書

記載者：幹事 後藤芳子

2004年7月16日(金) 19時～20時30分
出席率 68% (38名中26名参加)

第713回例会：プログラムタイトル「夏祭り」 担当委員
会：クラブ奉仕委員会

ゲスト：提唱ロータリー5クラブより6名・OB会5名・安養大学
RAC4名・通訳1名(合計15名)

年度2回目の例会は、毎年親睦をメインとした「親睦ビールパーティー」を行ってまいりました。今年度は会長の意向により各委員会担当者が自分達で作上げる例会をという、当初の申し送りがあり、クラブ奉仕委員会が考え今年度は「夏祭り」という形での親睦プログラムとなりました。

服装につきまして、浴衣や甚平といった夏祭りにふさわしいでたちで参加した会員も多く見受けられました。安養大学

RACの女性会員2名に帯広会員の清水美文さんの協力を得て、浴衣を着ていただきました。

いつもと違った雰囲気の中で始まった例会はまず、プログラム前の会長挨拶にて、安養大学との交流についてお話と紹介が、帯広会員・OB会そしてロータリーの方々に行われました。

引き続きバナー交換・お土産の紹介・そして安養大学 RAC会長のクーさんより、ご挨拶と帯広の会員宛の模造紙での寄せ書きをいただきました。

帯広 RAC 会長より、今年度のテーマ「絆」を色紙に書いたものを一人一人へ。「離れがたく、友情をつなぎとめる」という意味の説明が行われました。

例会プログラムについて、まず今回はじめて委員長を務める吉積委員長の挨拶後、新入会員の中島さんの司会で始まりました。立食形式での食事・飲み物を楽しみながら、歓談中には、会場中央に設置された、ヨーヨー釣りもたのしみました。

その後、あらかじめ受付にて行っていただく引きの絵柄をあれこれ、パートナーを探し出し様々な即席カップルが誕生。中には、男性同士や女性同士のカップルも見受けられました。クラブ奉仕のこの試みに、みんなが話しやすい雰囲気を演出していただけたと思います。しばし歓談が行われ、たくさんの方々と新入会員も積極的に、お話ししておりました。

安養の方々とは通訳を通して、また片言の英語でみんな興味深げに言葉を交わしておりました。

プログラムの中で、「盆踊り」が行われました。安養の皆さんははじめての、そして帯広の会員にとっても久しぶりだったり、忘れていたり・・・ロータリアンの清原様やクラブ奉仕のメンバーが円の内側に入り、みんなに踊りを教授しながら、それぞれ悪戦苦闘！ 年ぶりの盆踊りに興じました。また、盆踊りの最後に、事前に歓談中に用意していた短冊の願い事を円の中心で読み、飾ってあった笹につるして指名していくという、ゲーム感覚での願い事が行われました。

全員となると、40名を超える人数になる為、数名が読み上げて短冊を笹につるしました。みんなの個性溢れるユーモアに富んだもの、本当に切実な願いなど様々な願い事に、和気藹々とした雰囲気の中での盆踊りでした。盆踊り終了後、みんなそれぞれに願い事を笹につるしておりました。

今年度のクラブ奉仕委員会初の例会となりました今回、吉積委員長の吹き込んだ新鮮な空気と、新入会員の中島さんの司会。またクラブ奉仕委員会の準備と発想、そして新たな親睦の

形を見たと思います。日本の懐かしい雰囲気や童心に返って楽しませていただきました。

また、今回は、韓国の安養大学 RAC の皆さんが突然参加された事で、偶然でしたが日本のお祭りという事的一端をお見せでき、また、親睦例会にご参加いただいた事で、帯広会員の雰囲気も多少伝わったのではとも思います。

これからの活動にあたり、ロータリアンや OB 会との交流も行われた事で、会員みんなにとって、とても良い時間を例会内過せたとと思います。

例会中に、笹につるした短冊に書かれた願い事は、後日帯広神社にて奉納されることとなりました事を、ご報告いたします。

4 - 4 .

帯広けいせい苑と

帯広ローターアクトクラブの

関係

1995年 4月9日	例会にて「施設見学」というプログラム 始めて訪問させていただきました。
1995年 6月18日	帯広ローターアクトクラブ創立20周年記念式典 特別養護老人ホーム帯広けいせい苑(当時常務理事施設長)の村上 勝彦さまに、記念講演にて「福祉とは～出会い・触れ合いそして理解～」の講演をしていただきました。 この際に、帯広ローターアクトクラブの記念事業として、廃油石鹸100個をけいせい苑に寄贈いたしました。
その後・・・	
けいせい 苑 夏祭	< ボランティア活動 > 毎年行われている行事。ほかのアクトの行事に重ならない限り、出席して、車椅子の補助をしたり、ヨーヨー釣りや綿あめなどお孫さん・曾孫さんとの交流を楽しむお祭り内での屋台のお手伝い、駐車場の整備などをさせていただいております。
お年寄り との交流	一緒に囲碁や将棋を楽しみました。
草むしり・ 窓拭き	ボランティア活動のお手伝い。

毎年、何かの形でのボランティア・お手伝いといった親交が続いております。

5 .

参加者感想

5 - 1

打ち合わせを兼ねた

歓迎会について

副会長・小野 律子

今回外国のローターアクトクラブの会員が来帯し交流致しましたが、在籍5年目の私でも初めての経験だったので、正直戸惑い、不安でした。

しかも、事前情報では数ヶ月前に発足されたクラブだということを聞いていたので、余計に不安になり、全く見当もつかない状態でした。言葉も通じないし、どのようにコミュニケーションを取ればよいのか？そればかりを考えていました。

ですがお会いしてみると、始めこそお互い緊張していて、ぎこちないジェスチャー交じりの会話を交わしていましたが、年代が一緒というせいもあってか、時間が経つにつれ徐々にコミュニケーションが図れ、仲良くなるには時間もかかりませんでした。

また今回は、安養大学 RAC4名の会員と共に、通訳として同行して下さった“ユンさん” がいてくれたからこそ、私たちの交流は成功したといっても良いでしょう。

きっと私たちだけでは途方にくれ、ここまでの交流を図ることはできなかつたと感じます。

安養大学 RAC の会員はとても勉強熱心で、常に私たちの日本語に耳を傾け、そして少しでも何かを吸収して帰ろうと努力する雰囲気伝わってきました。

お互い言葉は通じなくても奉仕をする心、ボランティアをしたいという気持ちは変わらず、一生懸命に私たちの活動内容に耳を傾け、興味を持ってくれたことは、私たちが当たり前になっていて気がつかなかった点にも気がつかせてもらった気がします。逆に私どもの方が、恥ずかしさすら感じました。

また、韓国の会員はこの日帯広に着いて、直ぐに私たちと交流を交わしましたが、疲れた顔を一切見せず、私たちよりも元気で明るく、パワフルだったのが印象に残っています。

お酒が強い人にはビックリし、逆に私達は圧倒させられっぱなしでした。

今回の来帯は、韓国側が私たちのホームページを見て下さって、書き込みをしてくれたからこそ実現できたものです。

情報化社会の中だからこそ成しえることではないかと感じます。

今後は両クラブの更なる発展の為に、この交流を最後とするのではなく、ここから新たなスタートを切ったことに感謝し、ますますの交流が続くことを願います。

5 - 2

帯広神社訪問の際について

副幹事・荒井 之也

去る、7月13日安養大学ローターアクトクラブが、私の勤務先である帯廣神社に参拝に訪れました。

参拝は前日の四役との懇親会の席上、日本の文化に触れてみたいと言うことから急遽決まり、翌日当社宮司にその旨を伝えたと、社殿も案内して良いとの許可を得ました。

午前10時に来社し約1時間半境内地・社殿を案内いたしました。

当日の様子としては、来社早々非常に興味深げに鳥居等を眺め写真撮影をしていました。聞くところによると韓国では神道的な宗教及びそれに付随する建築物がないとのことでした。

そして、参道を歩きながら御祭神や神社について、また北海道の神社の特殊性や、境内地の建築物についての説明を行いました。皆さん見る物全てが初めてのものですから色々な質問をされました。ただ、通訳を介しての説明であった為、何処まで私の説明が伝わったかはわかりませんが、皆熱心に聞いており中にはメモを取る方もおられました。

次に、神社の正式なお参りの仕方を教えました。宗教施設でもあり、また先方の国民感情的に受け入れられるかどうか心配でありましたが、ただせっかく来たのだからと思い「いかがですか？」と話をしたところ是非とのことでしたので、まず手水の仕方を教えました。なぜするのか・どのような意味があるのか等も説明しました。そして私が一通り見本を見せた後、皆さんにも実際にして頂きました。やはり初めてですからつきもぎこちなく、また水を吐くところで飲んでしまう等という事もありました。その後社殿正面に進み私が先ほど同様に見本を見せた後お参り頂きました。

お参りの後に皆さんを社殿に案内し施設や神殿内の飾り道具等の説明をしました。そして、話の中で彼らは神社の祭典について興味を持ったらしく祭典の流れ、お祭りの種類、祝詞について等、色々な質問をされ非常に熱心に聞き入っていました。

そしてあっという間に1時間半が過ぎ、皆さんおみくじを引いて一喜一憂し御守りを受け、最後に記念撮影の後に帰られました。

全体的な感想として、皆さんそれぞれ熱心に話を聞き映像に納める等、片端から日本文化を吸収しようと言う熱意が感じられました。

5 - 3

FM Wing 出演に際して

副幹事・伊藤 基

番組名「いつもびかびかおひさま堂」

放送日 平成16年7月14日(水)13:00~13:45頃

担当者 鈴木実佳(FM ウイング)

受川精二(中華そば店「醬健身」店主)

田中厚一(帯広大谷短期大学教授)

・きっかけ

7月13日、安養大学ローターアクトクラブのみなさんと初めてお会いしました。その明るい性格としっかりとしたやりとりを聞いているうち、彼らに帯広でできる限りの体験をさせてあげたいと思いました。

自分にできることといえば、自社のスタジオを案内すること。そう考えるうち、「放送にも出てもらえればいい体験になるだろう。また、放送を聞いている人にも興味深い番組になりそうだ」と思い、番組出演をセッティングする事にしました。

さっそく局に戻り、各番組担当者と調整。各スタッフとも興味を示す中、午後ワイドでリスナーとの FAX・メールのやりとりを柱にしている、突然のゲストにも柔軟に対応できる「いつもびかびかおひさま堂」に出演してもらう事に決めました。

・安養のみなさん来局

当日の午後0時半過ぎ、安養のみなさんが帯広の野原会長・後藤幹事・森田理事とともに局に来ていただきましたが、局側の都合で打合せの時間がほとんどとれず、彼らは不安だったかもしれません。ですが、そのおかげで段取りにとらわれず様々な話をお聞きする事ができたと思います。

・いよいよ本番

番組スタート後、曲の間にスタジオへ。一気に全員

マイクの前に座ることはできないので、最初は会長のクさん、財務のチャンさん、そして通訳のユンさんに座ってもらいました。鈴木のリードで番組は進行。最初は硬かったおしゃべりもだんだん慣れてくるのがわかります。

残った二人もスタジオに入り、放送の模様を写真に撮っていました。

放送では、「日本の印象はどうですか？」といった質問のほか、「日本では冬のソナタがブームですが、韓国ではどうですか？」という質問から恋愛観の話になり、「冬のソナタの影響で親や恋人を大切にするという風習が更に強まったかもしれません。」という言葉も飛び出しました。

後半はクさんとチャンさんに替わって副会長のチェさんと書記のチャオンさんがマイクの前へ。料理人の受川さんから料理の質問。「韓国の味を出したいなら、なんといっても唐辛子とコチュジャン」「日本の料理は味が薄いので、チャオンさんは韓国から持ってきたコチュジャンを使って食べている。」といった話題が交わされました。

また番組中には、韓国語を勉強しているリスナーからハングル表記の FAX が届き、電波を通じた交流も実現しました。

・放送後の感想

後日、安養のみなさんに感想を聞くと「まさかラジオに出られるとは思わなかった。」とのこと。そして「楽しかった。」という言葉も頂いたので、いい体験をしてもらえたのだらうと思います。

FM ウイングとしては、外国からのお客様をお迎えする機会はまだまだ少ないので、十分な対応ができたかどうかは不安です。が、安養のみなさんの笑顔、そしてリスナーからの反応で、十勝における国際交流の一助になれたのではないかと自負しています。

弊局スタッフも大変貴重な経験をさせていただきました。ありがとうございました。

5 - 4

韓国安養日記

直前会長兼理事・森田 博之

この度の安養大学 RAC 4 名様のご来帯につき、私も帯広 RAC の会員にとっては非常に勉強になり良い機会となりました。

先月、我々のホームページに安養大学 RAC の方より公式掲示板に「国際交流に伴い親睦を深めたい」とコンタクトが入りまして、私より「もし、お越しの際は喜んでお迎えいたします」と言った内容でお答えしておりました。相手方と色々お話しを進めていく中で、返事のメールが読む事が出来なかった事もあり、非常に連絡が取りにくい状況ではありましたが、通訳のユンさんと直接お話しができてからは本当に帯広に来ていただけるんだと心から歓迎の準備を進めることができました。正直、メールのやりとりだけでは英語や韓国語を話せない自分にとって非常に難しいものがありました。通訳のユンさんと連絡が取れたのも3日前と言うこともあり、宿泊の手配から交流会の企画も急な中で進めさせていただいた状況です。3泊4日の中でどれだけ我々のクラブのことや日本を知っていただけるものかクラブ役員の方々相談のもと仕事を抱えている会員には負担を掛けられないところもありまして、当初はお相手するのも夜しか対応はできないだらうと思っておりました。

7月12日(月)千歳空港ご到着からレンタカーで皆様帯広に向かっていただき、夜の9時30分に宿泊先のホテルへ到着されました。翌日の火曜日には歓迎交流会を企画しておりましたので事前に滞在中のご説明を進めたく到着で疲れている中、私一人でホテル

にお迎えに行き、夕食と滞在中の説明を帯広RAC役員と伴に楽しませていただきましたが、ご説明の中で金曜日に我々の例会があることを説明しましたら、予定より滞在し例会も訪問し勉強したいと2日間延長の滞在となりました。私自身初日のお迎えにあたり、疲れも見せず笑顔が絶えない皆様を見て迎えている側としてもクラブや帯広のことを多く教えてあげたいと感じましたし、一番の印象は一生懸命さが伝わってきましたので、自分としても誠意で持て成すことを心掛けました。

13日(火)帯広RAC役員と伴に地元新聞社の取材、帯広RAC会員の勤務先を訪問なさった後、夜7時から歓迎交流会にお越しいただきました。我々のクラブ会員は13名と少ない参加でしたが、安養大学RACの方々は大進んで声を掛けてくれるなど本当に国際交流を楽しんでいる姿勢が見れました。この日は夜遅くまで会話に楽しんでいた会員もいたようです。

14日(水)この日は私が仕事の休みと言うこともあり、1日観光から我々のクラブがボランティアとして協力させていただいている「けいせい苑」へハンガーの寄贈から企業訪問として一緒に同行したり、会員のFM局へ出演したりと伴に楽しませていただきました。予想以上の充実した1日に大変勉強から満足をしていただけたと感じております。観光でも十勝の雄大な景色から食事ではソフトクリームやお寿司に感激していたようです。

15日(木)自由時間として日中は温泉など楽しまれ、夜は野原会長、他役員の方々は大進んでクラブに関する説明や景色の綺麗な名所へお連れいただいたようです。

16日(金)午後7時より帯広RAC例会にお越しいただき、女性2名は浴衣を着用していただきました。例

会ではプログラムを「夏祭り」とし盆踊りをしたり短冊に願い事を書いたり日本伝統の楽しみ方にも振れ合っていました。更にお互いのクラブバナーの交換をすることもできましたし、13日の歓迎交流会ではお土産として韓国のラーメン、焼酎、そしてクラブのバッジ、帽子、上着もいただきました。

17日(土)ご昼食を取られてから札幌へご出発されたようですが、非常に有意義に帯広を楽しんでいただき、ローターアクトクラブの活動にも役に立っていただけたようです。お会いしていた期間も長かったので、少々辛い別れでしたが、皆様には今後の学生生活の中で奉仕やクラブ活動に盛り上げていただけることでしょう。

今回、韓国の方々が大進んで訪問にあたり一番の目的は国際交流であり、ローターアクトクラブでの活動を学びに日本の中で北海道の帯広を選んでいただきました。全てが希望通りすすめられた訳ではありませんが、日本に対して文化や人やローターアクトの活動を多く触れ合えたようです。私たちは昨年度の全国研修会にて培った、「持て成す姿勢」が全面に出て会員一人一人が更なる大きな成長を見ることができ、この経験こそが我々にも国際交流へ進んで活動できる場になったと思います。最後になりますが何事もチャレンジ精神は必要だとつくづく感じました。自分達の財産を自分達が積み上げた良い経験と言えるでしょう。我が帯広RAC30周年を迎え、更なる飛躍を誓います。

5 - 5

浴衣を着て頂いた 様子について

会員・清水 美文

韓国安養 RAC の皆さんが来帯されての懇親会の席で、7月16日の帯広 RAC 例会「夏祭り」で「女性2人に浴衣を着て楽しんで欲しいと思うんだけど...」、と岡崎会員から相談を受け、お二人に話したところ、「着てみたい!」という事でしたので、浴衣にチャレンジして頂きました。

当日少し早めに会場に来ていただいて、浴衣を準備。

お隣の国、韓国とはいえ、シマチョゴリと浴衣とか着物って大分形が違うよな...などと考えながら、お二人に浴衣を着つけ始めたのですが、二人同時に着せたので予想より大変!まず、服の上から浴衣を羽織ってもらい前を合わせて腰紐を縛り、Tシャツはそのまま、ジーンズとスカートだけはゴワゴワするので脱いでもらいました。

当日は、帯広の7月中旬の気温としては暑い日でしたので着付けをしている間、お二人も既に浴衣姿の私もちょっぴり暑かったなー。怪しい英語と韓国語と日本語でコミュニケーションを取りながら、チャンさんには白地の浴衣に赤い帯、チャオンさんには紺地に黄色い帯の浴衣を着てもらいました。

なれない衣装と暑さに最初は戸惑い気味だったお二人ですが、帯を結び終わってお互いの姿を眺めて喜んでくれたので、私もホッとしました。

「とっても可愛いし、似合っているわよ!」と言うとお二人は嬉しそうに写真を取り合っていました。

チャンさんは長い髪をおろしていらしたのですが、まとめ髪にして欲しいということで、ゴムで簡単に髪をまとめてあげたら、本当に日本の女の

子みたいに。二人ともとっても浴衣が似合っていました。

帰り際、帯を解いて(慣れていないと帯は結構苦しいから。)リラックスした二人が「ありがとう。」と言ってくれて、私も着せてあげて良かったなって思いました。

そして私もいつか韓国でシマチョゴリを着てみたい。

こんな風に、自国の文化を伝え合えるような関係を、続けて行けたらとても素敵ですね。

5 - 6

全体を通して

幹事・後藤 芳子

本当に良い経験をさせていただきました。

当初は、本当に帯広にいらっしゃるのかどうかかわからない状態。実際にいらっしゃってからはその余りの突然さに、どうやって帯広 RAC の事を伝えたいのか、帯広の事を伝えたら良いのだろうかを、森田直前会長および役員のみなどと相談しながら、緊急に対応していくなかで、勉強をさせていただきました。

実際に帯広 RAC の会員は仕事を持っている都合上、日中や平日はどうしても会員みんなに声をかけて一緒に活動をしたりする事が出来ないことや、当初は例会日程にかからない形での滞在だったために、いつどうやって交流したらよいのかなど、問題は山積しました。

ロータリーの方々にどうやって説明したら良いのだろうか、地区の皆さんにはどう連絡したら良いのか、また関係団体のみなさんにアポイントメントがとれるのだろうか、実際に日本語はわかるのだろうか、英語なのだろうか...

今まで帯広 RAC と関係があった、けいせい苑への

訪問・見学が受け入れて頂いた事で、当初から予定しておりました、新聞社への年度始め挨拶の日程と重なった事で、新聞への掲載が出来たことによって、現在様々な方々からの問い合わせ・また新入会員のご紹介、ロータリーの方々からもご声援を数多く頂きまして、この交流がただ帯広 RAC と韓国安養との交流に終わらず、様々な方に私たちの活動の一端をご紹介できるとも良い機会となった事も、7月の年度始めに際してこれからの1年の活動に際しての弾みがつく事となると思います。

韓国安養大学 RAC の皆さんが、なぜ帯広を訪れたかという質問をした際に、「帯広のホームページを見て、活気のあるクラブだと言う認識をしたから」との答えに、前年度ホームページ担当だった私は、全国研修会の際にもホームページそしてインターネットの力で、離れている全国のクラブの方々と、交流できるという素晴らしさを感じておりましたが、英語版のホームページを作っていない帯広 RAC の HP をみて、まさか海外の方が「帯広に来たい」という事に繋がっていくとまでは思ってもいなかったのも、驚きと責任を感じホームページというもののあり方そのものに関しても、改めて考えさせられるも機会となりました。

また、彼らの物事に対する姿勢に感心させられることがとても多くありました。真剣で行動にメリハリがあり、そして前向きに物事を捉えようとし、何かを吸収しようとする勢いが彼らの中に感じる事が出来ました。一緒にいて、とても気持ちのいい人たちでした。この交流で、彼らが得たものはこれから伝わってくると思います。

今回、彼らに触発され、良い刺激を受け、より良い方向に会を進めていける事ができる、そのきっかけを彼らからのプレゼントとしていただいたと思います。これからの帯広 RAC の活動に繋がれば良いと思っております。

5 - 7

安養との交流を通じて

会長 野原 哲

前年度に引続き、今年度アンニャン大学ローターアクトクラブの会長を始め会員の皆さんが帯広ローターアクトクラブを視察に帯広にきました。

当初はどのような方が来るかとても不安に思っていました。みなさんとても真面目でアクトに対しても熱心な方々で安心しました。

アンニャン大学は今年の5月に提唱され16名にて現在活動中であり、社会奉仕の一環として家庭が貧しく学校に通えない子供たちへの学習指導を行っているそうです。世界各地にローターアクトクラブがありますが、その地域ごとに活動内容が様々であることを学ぶことが出来ました。また、言葉、文化、風習等も学ぶことが出来ました。初日はそのような文化、風習がよくわからなかったため、アンニャン大学ローターアクトクラブの皆さんに不自由をかけてしまい、もっと前から文化、風習を勉強して歓迎体制を万全にしておけば良かったと思いました。

この1週間弱の中で、新聞社、ラジオ局などのメディアを通じて様々な人々へローターアクトクラブの活動を伝えることが出来、そしてローターアクトクラブは日本だけではなくグローバルな活動であることも伝えることができたと思います。

ローターアクトクラブというのは冒頭にもありますように日本国内にとどまらず世界各地に存在しその地域への貢献などの活動を行っています。国は違っても奉仕という心は世界共通でないかと思いました。しかしながら、まだまだ恵まれない国や人々がたくさんいます。今回の視察により自分たちに何が出来るか再度考えていかなければならないこと気付かせてくれたと

思います。

本来、12日(月)から16日(金)までの4日間の滞在でしたが帯広ローターアクトクラブの例会が金曜日でありそれについてお話ししたところ滞在期間が2日間延長となり、例会に参加していただく事も出来ました。今回のプログラムは夏祭りということもあり、アンニャン大学RACの女性会員に日本伝統の浴衣を着ていただき参加していただきました。プログラムの最後に浴衣を着ての盆踊りがあり、なかなか体験の出来ないという事も有り、とても喜んでいて同時に日本の伝統についてもその一端を教える事が出来たのではないかと思います。

意見交換会の中でも、お互いの活動、組織について違いはありましたが本来の目標についての見解が同じであることがわかりました。これは、世界のローターアクトクラブの目標があるからこそ目指すものへの過程は違っても目指すものは同じということを感じました。

アンニャンローターアクトクラブの皆さんと日を増して交流を深めるにあたり、帰国の日が近づくととても寂しい気持ちになってきました。それだけアンニャン大学ローターアクトクラブの皆さんと心を打ち解け合えたのだと思いました。帯広を出発される時、耐え切れず男泣きをしてしまいました。皆と抱き合い握手をして、次回の交流を楽しみに別れました。そのときに、クー会長が私に3750地区でのペン(人に渡すことが出来ないペン)を渡してくれました。クー会長も帯広ローターアクトクラブのことをそれだけ大切にと言うことで渡したのだと思いました。また、チェ副会長は自分の持っていたバンダナ、チャンさんは自分の持っていたキーホルダーと自分のものを渡していただきました。これは、本当にこれから大切にしていきたいというメッセージが込められていることだと思います。

ローターアクトクラブの中でも海外との交流は少ないものであり、今回の交流を大切に、今後の交流につなげる事ができればお互いのクラブが発展していく事

と思います。そして、アンニャン大学ローターアクトクラブとの絆を大切に交流としていきたいと思います。

アンニャン大学ローターアクトクラブの皆さん、帯広ローターアクトクラブの皆さんありがとうございました。

6

滞在を終えるに当たっての

インタビュー

(幹事 後藤芳子)

例会に参加してどうでしたか？

- ・ こんなに大規模な例会は、ロータリーでやっているのは見た事がありますが、アクトの例会としては初めての経験だったので、参加して良い勉強になりました。帯広の会員の皆さんが楽しんでいる中に混じって交流できた事、とても楽しかったです。

今回帯広に来る事にたって、何か不安な事はありましたか？

- ・ 森田直前帯広会長 > とても半信半疑な面があった。日本に来る事はわかっていましたが、実際に帯広に来るかどうかはわからなかったのも、そこに不安を感じていました。しかし、もしどこか訪問するのなら、自信を持って帯広に着て欲しいと思っていました。また、言語の問題に関しても、安養 RAC のほうで通訳の方を手配していただいた事で、連携も取れ、交流も連絡も上手くすすんでいくようになった事で、不安はどんどん解消されました。
- ・ クーさん(会長) > 僕たちはとても運が良かったと思います。帯広に来る前に、急に連絡をしたことで心配していました。帯広の皆さんが準備してくれた事に対してとても嬉しいです。

1番おいしかった食べ物はなんですか？

- ・ クーさん(会長) > ナイタイ高原牧場で食べた、ソフ

トクリーム

- ・ チャンさん(財務) > 屋台村で食べた、お好み焼きと玉こんにゃくのピリ辛炒め
- ・ チャオンさん(書記) > 回転寿司

苦手だった食べ物はなんですか？

- ・ チェンさん(副会長) > 着いて次の日に食べた、味噌ラーメン。韓国にも日本のラーメン屋さんがありますが、もっとあっさりしていて食べやすいのですが、脂がたくさんでした。あと、最初のうちは、日本の朝食が薄味に感じて苦手でした。もってきていたコチュジャンをいれたりしながら食べていましたが、日を追うごとにどんどん慣れてきました。

最初の印象は？

- ・ クーさん(会長) > 帯広に来て最初に会った、森田さんが夜遅くにもかかわらず、ホテルまで迎えに来てくださった時に、日本人が相手に対するやさしさを持っていることが、わかった事と、笑顔が印象的でした。
- ・ チャンさん(財務) > 日本で見る様々な、車や建物がとてもかわいいのが印象的です。
- ・ チャオンさん(書記) > 帯広に来た日は、夜遅かったのに役員の人たちがみんな笑顔で迎えてくれたことが印象的です。
- ・ チェンさん(副会長) > 日本に来る前は、ニュースの報道などで小さい子供が引き起こした殺人事件や、凄惨な事件をみていたため、余り良い印象がなかったが、日本に来て日本人の親切さや、良い人たちもいるという事を認識できたこと。

思い出深かった事は？

- ・ チェンさん・チャンさん > 夜にどうしても海が見たくて、無理を承知で哲会長と伊藤副幹事に同行・案内して頂いて、見た夜の星空がとても綺麗だったこと。安養は、工業地帯で光化学スモッグが発生したりするとこ

ろのため、こんなに星がたくさん見れる事がなかった
のでとても感動しました。流れ星もたくさん見る事がで
きて、3回願いを言うのかなうと教えてもらったので、
みんなで色々な願いを託しました。

みなさんは、大学生ですが将来の夢はなんです
か？

・クーさん(会長) > みんなに尊敬されるような人にな
りたいです。

・チェさん(副会長) > 森田さんのように前向きな人間
になりたいです。

・チャオンさん(書記) > 自分の事がしっかり出来るよ
うな人になりたいです。

・チャンさん(財務) > もっと前向きで活発な人間にな
りたいです。

明日の朝までの交流となったわけですが、どんな印
象をもちましたか？

- ・ 森田直前帯広会長 > 礼に暑くていい面が随所に
見える、とても熱心で雰囲気がとてもいいクラブ
の人たちなんだなという印象が強いです。みんな
の前向きさで、こちらも触発されております。僕は
皆さんの保護者のような目線で見てしまったのか
も知れませんが。

しかし、皆さんとコミュニケーションをとる中で、自
分達の活動をこれによって見つめる事ができたと思
うし、これからの活動についても自信が出来、
この経験を私達も成長して行けると思う。

最後に・・・

- ・ 森田直前帯広会長 > 「ボランティアというのは自
分達からすすんでやる事というよりも、自分達が
させていただいているという謙虚な姿勢も必要で
ある」と、帯広の例会で以前、鎌田輪業の社長さ
んに卓話していただいた時に、言っておりました。
私はこの言葉を皆さんにお知らせします。

- ・ クーさん(会長) > 私たちを歓迎していただいて本
当にありがとうございました。

短い時間でしたが、本当にいい勉強になりました。
次回会うときはこちら皆が日本語でお迎えできる
ように頑張ってみますので、ぜひ韓国にいら
っしゃって下さい。

野原団長さんをはじめ帯広ローターアクトクラブ
の皆様、どうもお世話になりました。

どうも、ありがとうございました。

7 . 資料

7 - 1 .

お土産リスト

<安養大学 RAC よりお土産で頂いたもの>

安養大学 RAC・ピンバッチ (4 0 個)

安養大学・キャップ (5 つ)

安養大学・ポロシャツ (3 枚)

韓国の焼酎の小瓶 (15 本)

韓国のインスタントラーメン (1 5 袋)

チマチョゴリを着た人形の付いている

ストラップ (4 0 個)

<帯広 RAC よりおみやげ>

帯広 RAC バッチ (1 0 個)

前年度全国研修会の際のバッチ (2 0 個)

全国研修会資料・帯広 RAC 活動計画書 (過去 2 年分)

ローターアクト必携 (韓国語版) < パソコンでダウンロードの上作成

六花亭・十勝日誌

十勝ワイン赤 (6 本)

7 - 2 .

滞在日程を終了して

帯広 RAC ホームページ内掲示板・書き込みより

どうもありがとうございました。

ク・ザホンさん 7月18日(日)0時13分

私たちが歓迎していただきまことにありがとうございました。短い時間でしたが、本当にいい勉強になりました

た。今回取った写真とタイプまた、準備できなかったこちらの資料は早いうちに郵便でお送りします。

ぜひ韓国にいらっしゃってください。野原団長さんをはじめ帯広ローターアクトクラブの皆様のご世話になりました。どうもありがとうございました

~ 通訳 ユン・ジンハ

RE: どうもありがとうございました

よしこ 7月18日(日)1時57分

ク会長さんはじめ、安養の皆様へ

ホームページへの書き込みありがとうございます。今は札幌ですよ？

皆様との時間の中で、こちらも触発させていただくことばかりでした。帯広の会員は職業を持っている事で、夜の集まりが多くなり、また平日と言う事で昼間の時間帯での対応が余りできなかった事、ごめんなさい。

帯広の会員とお話する時間も少なく、対応に当た者たちとの時間だけでは伝えきれなかった面もあると思います。これから皆さんとのことをお話し、得た事をみんなに伝えながら、これからの活動における、良い糧として、また新たな交流のきっかけとなるように、これからも連絡しあっていきたいと思います。

みなさんの前向きな考え方や、色んな事への興味を持ってすすんでいる姿勢、そして真剣さと行動する事へのパワーをみていて、改めて今回の交流がこれからの活動への飛躍となる事と思います。素敵な時間をありがとうございました。

現在、帯広会員並びに関係団体(帯広提唱ロータークラブ・第2500地区ローターアクトなど)への報告書を作成中です。準備が整いましたら郵送させていただきます。あと数日の日本滞在を満喫してくださいね。

P.S.

ユンさん！通訳お疲れ様でした。

これからも札幌での留学生活がユンさんにとって、有意義なものとなりますようお祈りいたします。

RE: どうもありがとうございました。

もりた 7月18日(日)13時4分

安養大学 RAC の皆様、こちらこそありがとうございました。私たちもみんなに出会えて一生忘れる事が出来ないくらい良い思い出になりました。

その分別れが辛かったですね。

必ずお会いできる日を楽しみに私たちも韓国語の勉強に一生懸命頑張ろうと思います。通訳のユンサンにも大変感謝いたします。本当にまた合える日を楽しみにしております。

またお会いしましょう

もとい 7月18日(日)17時14分

安養のみなさんこの1週間はとても楽しかったです。お隣の国でありながら、実際は知らない事も多く、毎日の世に色々な事を教えてもらってとっても勉強になりました。そして、言葉はすぐに通じなくても、一緒に楽しみたいと言う気持ちは伝わると言う事も学びました。

FM ウイングにも着ていただきありがとうございました。私たちの局も外国のお客様をお迎えする機会は少なく、充分に対応できなかったかもしれませんが、帯広・十勝の皆さんに電波を通じて大変有意義な、そして楽しいお話を伝えられたと思います。また、日本にお越しください。そして私たちもいつか、みなさんに会うために韓国に行きます。

追伸:ユンさんへ

ユンさんの通訳がなければここまで交流する事は出来ませんでした。帯広と安養が会話をしている間、ずっとお付き合いいただいととても大変ではなかったかと思えます。ありがとうございました。

またこういう機会がありましたらよろしくお願い致します。

こちらこそありがとうございました。

りつさん7月19日23時52分

私たち帯広 RAC 会員もこの一週間はとても有意義なものとなりました。短い時間でしたが、私たち自身も改めて気付かされる事が多く、お互いに刺激しあえた、いい交流会になったのではないのでしょうか？

言葉は通じなくても、おたがいの気持ちが通じ合える事は本当に素晴らしい事だと感じました。通訳して下さったユンさん、本当にありがとうございました。ユンさんのお陰で交流の幅が広がったと思います。

今回の交流が最後ではなく、これから情報交換しながら益々交流が深まる事を願います。本当にありがとうございました。

まずは帯広 RAC の皆さん

韓国語を勉強して、頂いた寄せ書きを解説しましょう。そしていつの日か、皆さんに会いに韓国へいきましょね。

RE: どうもありがとうございました。

さとり 7月20日(火)12時26分

アニャン大学 RAC のみなさま、こちらこそ本当にお越しいただきありがとうございます。

食事の際、文化の違いでなかなか食べ始める事が出来なく、歓迎する側として僕らももっと韓国の文化について学んでいればよかったと思いました。

また、言葉にしても、もっと勉強し少しでも話す事が出来れば良かったと思いました。皆さんが帰ってしまったから、なぜか心に穴があいたように感じます。

でも、これからのお互いの交流でふさがって行くと思えますので、これからも良い交流をもつ事が出来ればと思えます。

最終日、お昼ごはんをとってグリーンパークにてぶた井の駅弁でお別れをしましたが、自分の中になにか深く刻まれたものがありました。具体的な事は自分でも説明できませんが、国際交流というのはとてもいいものだと思います。

なぜか、皆さんが帰ってしまう時間が近づいてくると、

ウルウルきちゃうんですね…もろい僕です。皆さんと抱き合い男泣きをしてしまいました…(恥ずかしいですが…)そのくらい、今回の交流(意見交換会・例会)がよかったんだな～と思いました。今度は僕らがアニャン大学にいきましょう！それまでに韓国語を少し覚えたいです…。

この、貴重な交流を大切に、そしてこれからの益々の交流をしていきましょうね。

こんばんは！

ユン・ジン八さん 7月19日(月)0時43分

皆さんこんばんは！

別れてから1日しかたってないですが、すごく寂しくて、また会いたい気持ちで眠れない一日でした。

きょうは、アニャン大学の皆さんと豊平川で花火をしました。今は私の部屋で寝、みんな揃ってしています。

私を含め、みんなまた会える日を楽しみに待っています。私も今回、いろいろといい勉強になりました。

帯広ローターアクトの皆様、どうもありがとうございました。

おやすみなさい

RE:こんばんは！

りつ 7月20日(火)0時6分

交流期間中は、通訳をしてくださって、本当にありがとうございました。改めて御礼申し上げます。

ユンさんとは、同じ北海道ですから、またいつでもお会いできますよね。いつでも私たち帯広 RAC に遊びにきてください。みんなで歓迎いたします。

またお会いできる日を楽しみにしています。

P.S.

安養大学 RAC のみなさんは、無事に帰られたのでしょうか？

RE:こんばんは！

ユン・ジン八 7月20日(火)0時42分

安養大学 RAC の皆は無事に家に着いたそうです。今朝新千歳空港まで送りに行ってきました。

皆はまた、帯広に行きたいそうです。

何か皆寂しくて朝出発前に電話でもしようかとおもったそうですが、あまりにも朝早い便でしたので、私がかわりに野原さんにお電話いたしました。

また会いたいですね。

RE:こんばんは！

Satoru 7月20日

ユンさん今回の交流会本当にありがとうございました。

私たちの勉強不足で韓国語が話せず、全部通訳をお願いしてしまいました。新聞・ラジオの取材にはとても困られたかと思います。でも私たちも貴重な経験をすることが出来、本当に良かったと思います。

またこちらに来る事があれば、遠慮なく声をかけてくださいね！

本当にありがとうございました。